

東洋建設が持続的に成長していくため 多様な人材の育成に注力しています。

外国人技術者の教育研修を積極的に推進

多様化する社会のニーズに対応し、持続的に成長していくためには、多様な人材を確保し、その能力を最大限発揮してもらうことが必要だと考えています。当社は経営理念のひとつである「人間尊重」のもとに、女性活躍推進をはじめとして様々な取り組みを進めています。

そのひとつが外国人技術者の育成で、2014年から毎年、フィリピンの現地法人CCT CONSTRUCTORS CORPORATIONの建築技術者2名を研修生として受け入れ、日本の建築現場において1年間の実地研修を行っています。また、2018年度からはマニラ営業所から選抜した10名のフィリピン人技能職員の、技能実習生として受け入れ、作業船での技能実習や日本語教育などを実施。国内、海外事業で活躍できる優秀な技術者を育成するとともに、日本人職員の外国人指導力の向上を目指しています。

また、海外事業を統括する国際支店では、外国人職員を採用し、設計業務、施工検討業務などで能力を発揮してもらっており、国籍に関係なく多様な人材の活用を積極的に推進しています。



経営管理本部
人事部長
時水 久



地盤改良船上での日本人指導員による溶接指導

日本の丁寧なものづくりを数多く学んで 帰国して欲しい

今回の研修の現場は食品会社の工場新築工事で、4分割している建物の中央2棟が巨大な冷凍冷蔵庫になっているのが大きな特徴です。研修生のアレンは電気エンジニア、アレックスは建築系のエンジニアで、いずれも施工管理に携わってもらいましたが、日本の丁寧なものづくりを学んでもらえたら嬉しいです。二人とも優しいし、よく気が利き、人間的にも素晴らしいと感じています。



関東建築支店 建築部
エスフーズ(株) 新船橋工場新築作業所
作業所長
林 良則

CCTからの研修生の受け入れ

第1期	2014年7月～2015年6月	2名
第2期	2015年7月～2016年6月	2名
第3期	2016年9月～2017年8月	2名
第4期	2017年9月～2018年8月	2名
第5期	2018年9月～2019年8月	2名

海外プロジェクトでの当社外国人職員の 活躍に期待

東洋建設にはフィリピン、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、インドネシアに営業所、出張所があり、また、現地法人としてフィリピン・マニラにCCT CONSTRUCTORS CORPORATIONがあります。これらの海外拠点を統括しながら、海外事業を展開しているのが国際支店です。海外でのプロジェクトは地



域ごとの対応・調整が必要であり、様々な場面で、海外拠点あるいは国際支店の外国人職員の活躍が期待されています。

国際支店 土木技術部長
常盤 敏



国際支店内で海外の建設プロジェクトの打ち合わせ

1年にわたり食品工場新築の建設現場で、施工管理を実習。日本人スタッフとコミュニケーションをとりながら、日々、実務を通して日本の技術を学びます。



電気エンジニアとして、現場の電気系統の記録を確認するアレンさん
東洋建設の日本人職員とともに現場の品質管理に努めるアレックスさん(左)

Voice

一番の印象は東洋建設の皆さんの優しさ

私が所属するCCTには教育プログラムのひとつとして東洋建設での1年研修があり、私は上司の推薦で選ばれました。国を出るのは初めてで不安もありましたが、いろいろなことを学べる良い機会だと期待も大きかったです。今回の研修で一番苦労したのは日本語。難しいです。でも、東洋建設の皆さんが懸命に英語で話しかけてくれて助かりました。仕事はCCT勤務時と同じく電気エンジニアとして施工・品質管理に携わりましたから問題なく実習できました。今回の研修で学べた日本での仕事のやり方をCCTの後輩たちに伝えたいと思っています。



アレン
Ricamara Allen
CCT CONSTRUCTORS
CORPORATION.

日本式の施工技術や品質管理を学べた

東洋建設は大学のクラスメイトも知っているほどフィリピンでも有名な企業です。日本は交通が発達していて、それがもの凄く印象的でした。工事現場では日本の方が建設機械の種類も数多く、それらをうまく活用して合理的に施工を進めていると感じています。今回の研修でフィリピンでは馴染みのない施工技術や品質管理の方法を学ぶことができました。知見がとても広がり、それが一番の収穫です。東洋建設の研修は全員が参加できるわけではないので、私が学んだことを伝えることがとても大切だと考えています。



アレックス
Pacada Alexander
CCT CONSTRUCTORS
CORPORATION.

Voice

土木は社会的意義が高くやりがいがある

大学で土木工学を学び、卒業後はイギリスに本社のある設計会社に勤務し、アラブ首長国連邦の建設現場で数量計算などを行っていました。その後、2013年10月から進んでいたベトナム・ニソン製油所のプロジェクトで、東洋建設が施工したプラント海洋工事の作業所職員として採用されました。プラント海洋工事を終えた後、2016年7月から国際支店の職員として、土木構造物の設計などを行っています。土木構造物はインフラであり、地域社会への貢献度も高く非常にやりがいを感じます。私の経験を次の世代につなぎたいと思っています。



国際支店 土木デザインエンジニア
ホセリト
Joselito Mallanao Bagunu
フィリピン出身

東洋建設での経験を母国ネパールで活かしたい

2012年に来日して派遣会社で働いていました。東洋建設には2014年9月に派遣社員として入社して、12月までベトナム・ニソン製油所のプロジェクトに携わりました。翌2015年1月からは職員として国際支店に勤務し、土木構造物の設計などを行っています。来日前の日本のイメージは雪の国。子どもの頃見た映画やアニメでいつも雪が降っていたからです。日本で働くようになってからは、日本の皆さんが働き過ぎるくらい働いているのが印象的でした。東洋建設でたくさん学び、将来はネパールと日本の架け橋になりたいと思っています。



国際支店 土木デザインエンジニア
ニラジャン
Nirajan Thapa
ネパール出身